

タチカワレポート

第76期 期末報告

2021年 1月 1日

▼
2021年 12月 31日





家庭に、企業に、都市の中に。
次代の生活文化を創造する、様々な事業を展開。
インテリア産業の一翼を担う企業として、
これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長 **池崎 久也**

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2022年3月1日をもって代表取締役社長に就任いたしました池崎久也でございます。

インテリア業界を取り巻く環境は厳しい状況が続くと思われませんが、ポストコロナを見据え、市場ニーズを的確に捉えた製品の企画開発を進め、企業価値の向上を目指してまいります。

また、建築物内外の生活環境の改善に努め、環境負荷を低減しながら、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

このたびの新型コロナウイルス感染症に最前線に対応されている医療従事者をはじめ、感染拡大防止に向けてご尽力いただいている皆様にご心から感謝と敬意を表します。

当社といたしましては株主の皆様のご期待に沿えるよう、全役員、従業員が一丸となって社業発展のため専心努力致す所存であります。

今後とも、ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年 3月

プロフィール

池崎 久也 (いけざき ひさや)

1966年2月14日生

1988年 4月 当社入社

2018年 9月 当社営業推進部長

2019年 3月 当社取締役営業推進部長

2019年 7月 当社取締役営業部門担当 兼 マーケティング本部長

2021年 4月 当社常務取締役営業部門担当 兼 マーケティング本部長

2021年 11月 当社常務取締役マーケティング本部長

2022年 3月 当社代表取締役社長 (現)

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による度重なる緊急事態宣言の発出等により社会経済活動が制限され、厳しい状況が続きました。新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や緊急事態宣言の解除を背景に、個人消費や企業の設備投資はやや持ち直しの動きが見られましたが、新たな変異株が出現する等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ関連の建設・住宅業界は、短期的にはコロナ禍での住宅着工戸数減少の反動により持ち直しの動きが見られますが、世界的な原材料のひっ迫や価格高騰等、事業環境の先行きは不透明な状況であり、また長期的には世帯数の減少や住宅の長寿命化等により新設住宅着工戸数が年々減少傾向にある等、厳しい環境となっております。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、生活様式や働き方が大きく変化する中、多様化するニーズに応じた、より安心・安全で快適な住空間づくりを目指し、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、SDGsへ賛同し、環境に配慮した製品の提案等、持続可能な社会へ向けた取り組みを推進してまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、くし歯式の強みを活かした営業展開により新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案を推進し、製造・施工コストの管理体制強化を進めることにより、受注・収益の獲得に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業を進め、新規顧客獲得に注力するとともに、

生産体制の改善等による収益獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は41,236百万円（前期比3.1%増）、営業利益は4,557百万円（前期比0.5%増）、経常利益は4,663百万円（前期比1.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,868百万円（前期比1.1%減）となりました。

業績の見通し

今後の見通しにつきまして、国内景気は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進展や各種政策により次第に回復に向かうことが期待されますが、一方で新たな変異株の出現、原材料のひっ迫や価格高騰等、事業環境を取り巻く状況は先行き不透明です。

次期の業績につきましては、売上高42,310百万円、営業利益4,620百万円、経常利益4,770百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,920百万円を見込んでおります。

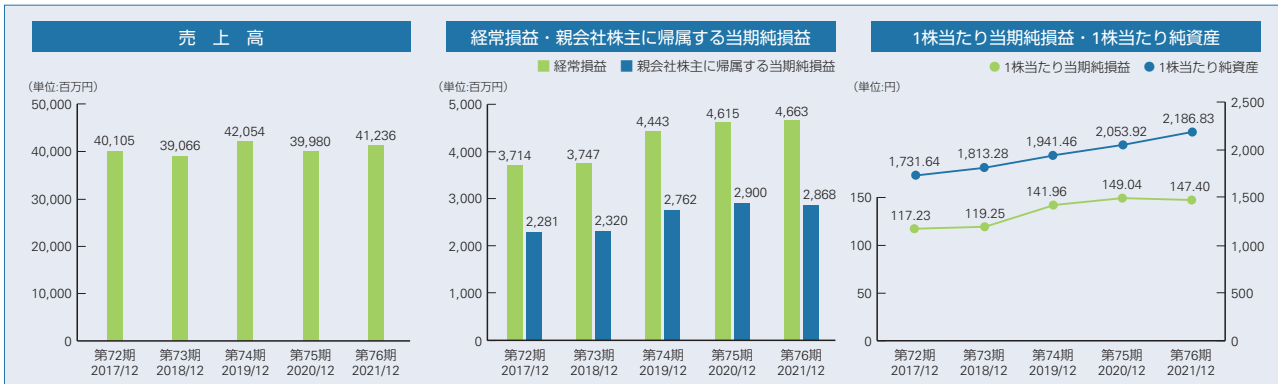
期末配当金について

当社は、財務基盤の強化と高収益性の実現による持続的成長の為、内部留保を充実させ将来の事業展開に備えるとともに、企業価値および株主価値を向上させることを目的として、業績に応じた配当を適宜判断し行う方針としております。

当期の期末配当につきましては、当事業年度の業績と、株主の皆様に対する利益還元を踏まえ、1株につき20円とさせていただきますと存じます。これにより、中間配当金を加えた年間配当金は、1株につき30円となります。

また、次期配当金につきましては、業績に応じた配当を予定しております。

財務ハイライト



室内外装品関連事業 34,245百万円

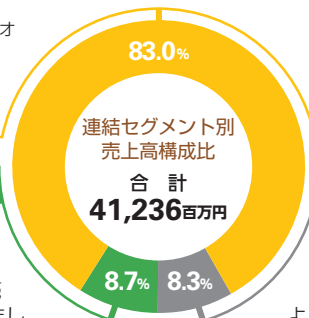
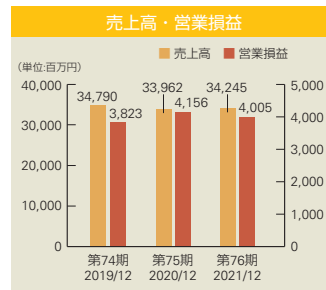
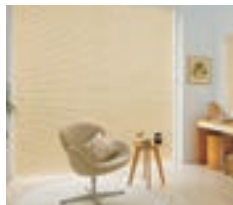
主力製品のひとつであるロールスクリーン『ラルクシールド』や、住宅向けタテ型ブラインド『ラインドレープ』においては、ライフスタイルで選べる多彩なデザイン生地ラインナップへ刷新したほか、窓の大開口化に対応した製作可能寸法へ拡大する等、大幅なリニューアルを行いました。オフィスや店舗などの大きな窓にも対応する非住宅向けタテ型ブラインド『パーチカルブラインド』では、スラットラインナップをリニューアルし、遮熱・制菌・抗ウイルス加工スラットや水拭きできるスラットを拡充させ、機能性やメンテナンス性の向上を図りました。

また、おうち時間の増加による室内空間の間仕切りニーズの高まりを受け、間仕切『プレイス』『プレイス スウィング』に「ソフトクローズ機能」を標準搭載する等、機能と納まりを拡充し、加えて『プレイス スウィング』は2021年度グッドデザイン賞を受賞しました。

そのほか、スマートスピーカーやスマートフォンでの操作も可能な窓まわりの電動製品『スマートインテリアシェード ホームタコス』の市場浸透に注力し、電動製品の高い付加価値

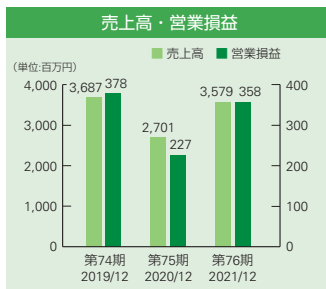
を提案しました。

以上により、売上高は34,245百万円（前期比0.8%増）となり、営業利益につきましては、継続的なコスト低減活動等に努めましたが、販売費及び一般管理費が増加し、4,005百万円（前期比3.6%減）となりました。



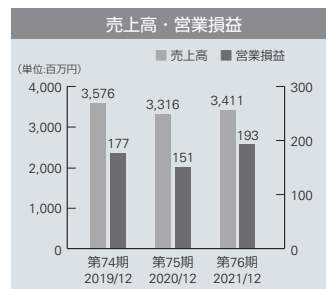
駐車場装置関連事業 3,579百万円

新築工事において、主力製品である「パズルタワー」の工事が進捗するとともに、改造改修案件の受注が堅調に推移したことで、売上高は3,579百万円（前期比32.5%増）となりました。営業利益につきましては、製造・施工コストの管理体制強化など継続的な原価低減活動に努めたことにより、358百万円（前期比57.2%増）となりました。



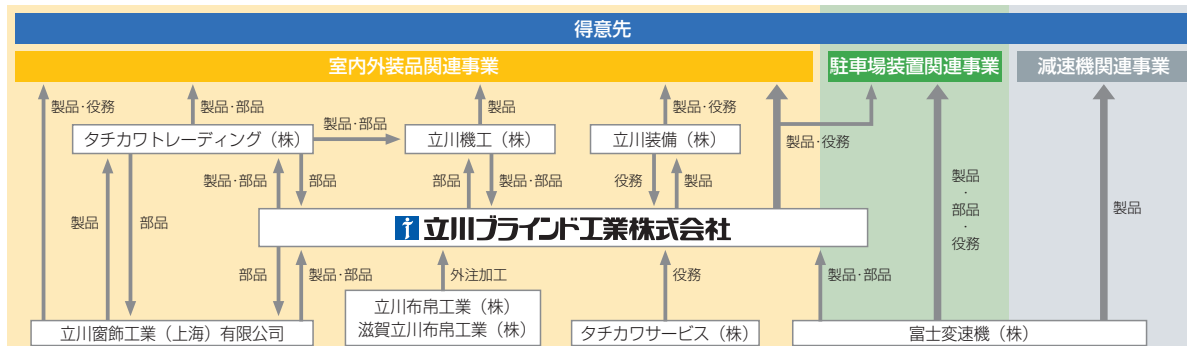
減速機関連事業 3,411百万円

工作機械の受注回復の兆しが見えるなか、無人搬送台車駆動用減速機など、当社が得意とする個別製品の受注が堅調に推移したことにより、売上高は3,411百万円（前期比2.9%増）となりました。営業利益につきましては、売上高の増加や高付加価値製品の構成増加等により、193百万円（前期比27.7%増）となりました。



当社グループ（連結会社）は、当社および連結子会社8社で構成され、室内外装関連製品、機械式立体駐車装置等の製造販売およびそれらの設計施工を主な内容とし、さらに各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

■ 事業の系統図



(注) 富士変速機（株）は名古屋証券取引所に上場しております。

■ 主なグループ会社

<p>立川機工株式会社</p> <p>ブラインド、間仕切等の部品およびカーテンレールの製造販売</p>	<p>立川装備株式会社</p> <p>ブラインド、間仕切等の据付および関連製品の販売</p>	<p>富士変速機株式会社</p> <p>変速機、減速機、立体駐車装置および間仕切の製造販売</p>
--	---	--

■ 中長期的な会社の経営戦略

当社グループでは、厳しい経営環境下においても安定した収益を計上できる事業体制の構築に向け、以下の項目を重点戦略としております。

- ① 時代の要請とニーズに応えた製品開発と市場導入**

新型コロナウイルスの感染拡大により生活様式や働き方等が大きく変化する中で、多様化するニーズに応じたより安心・安全で快適な住空間づくりを目指し、顧客満足度の高い製品を開発・提供する。
- ② 成長分野への取り組み強化**

需要が高まる電動製品や、間仕切りをはじめとするリフォーム需要、海外市場などの成長分野への取り組みを強化する。
- ③ 生産体制の強化**

原材料の世界的なひっ迫や価格高騰が続く中においても、高品質かつ安定供給を維持し、また、生産拠点毎の生産品目の適正化と在庫の適正化にも注力する。
- ④ 経営資源の整備**

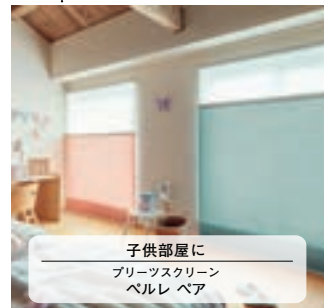
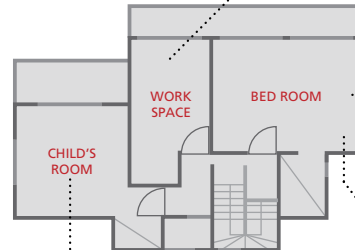
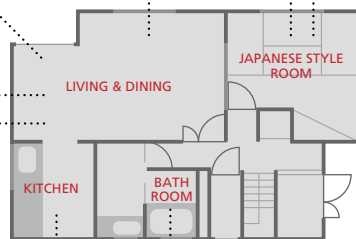
将来にわたる安定的な収益基盤の構築およびリスクマネジメント強化を図る為、事業拠点や生産設備といった経営資源を計画的に整備する。
- ⑤ サステナビリティについての取り組み**

SDGsに賛同し、ブラインドや間仕切りをはじめとするインテリア製品を通じて、「人にやさしい快適な環境づくり」や「環境に配慮した製品」を提案するとともに、自社においても、CO₂排出量や廃棄物等の削減を推進し、環境負荷を低減しながら、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献する。

また、柔軟な働き方の推進、地域限定等の柔軟な採用、人材育成を通じ、経営の基盤となる人材確保に注力する。

人と光のあいだに優しい快適を

タチカワブラインドでは、
豊富なバリエーションを取り揃え、
快適な環境づくりにお応えします。



メーカーとしての原点を忘れることなく、 真摯な「モノづくり」で信頼と実績を明日へつなげます。

私たちの事業は、オーダーメイド。

多彩なアイテム、自由なスタイル、最適なタイミングで、ひとつひとついいにお届けしています。
お客様のニーズによりきめ細かくお応えするために、モノづくりの原点といえるスタイルを貫いています。

そして、よりよい品質の製品づくりを目指して、日々、素材、機能、デザインの追求に力を注いでいます。
製品そのものが、さまざまな空間に高い省エネ効果をもたらすのはもちろんのこと、
製品をつくる工程でも環境負荷を低減する活動を展開しています。

また、原料選びにおいても、できる限り環境負荷の少ない素材を厳選しています。

モノづくりの原点を大切にすると、人と環境に優しい上質な製品を創造する技術をもって――。
「業界初を生み出していく」私たちの挑戦は、これからもずっと続いていきます。

タチカワブラインドの事業展開

ワークスペースに
間仕切
プレイスウィング

寝室に
ロールスクリーン
ラルクシールド

寝室に
ヨコ型ブラインド(ウッド)
フォレティアエグゼチェーン

高度化するビジネス空間を、もっと快適に。

オフィスで働く人たちが
仕事に専念できる環境をつくるために。
優れた操作性や省エネ効果の高いブラインドなどを取り
揃え、あらゆる快適空間づくりの提案を行っています。

OFFICE



丸の内ビルディング



赤坂インターシティAIR

光を演出する、お部屋をコーディネートする。

本当にリラックスでき、
快適さを実感できる空間とはなにか…。
私たちは、性能、素材、色彩など、さまざまな視点から
その本質をつねに追求しています。

HOME

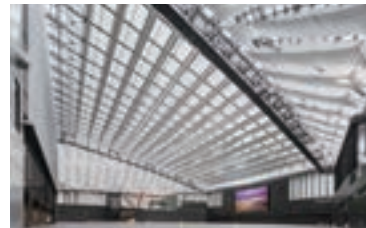


パーフェクトシルキーチェーン

公共施設にふさわしい快適性を追求。

タチカワブラインドは、今までに庁舎、ホテル、学校、
病院、スポーツ施設など、都市のシンボルとなる建築物
をはじめとしたさまざまな公共施設に納入した確かな実
績を誇ります。

PUBLIC



新宿住友ビル三角広場

2021年に発売した新製品やトピックスをご紹介します。

間仕切『プレイス』・『プレイス スウィング』機能拡充

【2021年10月】

在宅勤務の増加など新しい生活様式への対応や、おうち時間を快適に過ごすためのリフォームに対する間仕切り需要の高まりを受け、間仕切『プレイス』・『プレイス スウィング』の機能を拡充しました。木目調のフレームを採用した、温かみと重厚感が特長の『プレイス』、スリムなフレームで、スタイリッシュなデザインが特長の『プレイス スウィング』。さまざまなシーンに対応し、住まいに新しい空間・暮らし方を叶えます。



プレイス スウィング

『プレイス スウィング』は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2021年度グッドデザイン賞」を受賞しました。



プレイス

「省エネ」と「快適」を両立 ヨコ型ブラインドに新スラット拡充 『グロスレス遮熱スラット』

【2021年8月】

アルミ製ヨコ型ブラインドに、「省エネ」と「快適」を両立する『グロスレス遮熱スラット』を新たにラインナップし発売しました。

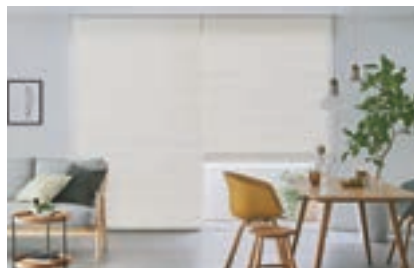
スラット表面に細かな凹凸を形成する新たな塗料で、スラットのグロス（ツヤ・光沢）をなくし、太陽光を拡散反射させることにより、眩しさ・日射熱を抑制。眩しさを気にせず、スラットの開閉で心地よい明るさと眺望を確保します。



『フォレティア チェーン エコ』 スラット拡充

【2021年2月】

限りある木材を有効活用した集成材をスラットに使用した木製ブラインド『フォレティア チェーン エコ』のスラットに新色を追加しました。昨今では、家族が集うリビングやナチュラルでカジュアルな空間にも木製ブラインドを手軽に使いたいというニーズが増えており、定番からトレンド色まで、エコスラットに新色10色をラインナップしています。



「より豊かな、自分らしい快適な暮らし」をご提案

ロールスクリーン『ラルクシールド』・タテ型ブラインド『ラインドレープ』リニューアル 【2021年6月】

「より豊かな、自分らしい快適な暮らし」をコンセプトに、ロールスクリーン『ラルクシールド』・タテ型ブラインド『ラインドレープ』を大幅にリニューアルしました。ライフスタイルで選べる多彩なデザイン生地や、色・質感・機能がさらに充実したプレーン生地などニーズに合わせ、心地よい快適な暮らしを提案しています。



ラルクシールド



ラインドレープ

窓まわりの電動製品『スマートインテリアシェード ホームタコス』

当社は、すべての人が安全・安心・快適に過ごせる暮らしを実現するため、窓まわりの電動化を推進しています。

『スマートインテリアシェード ホームタコス』は、電源プラグをコンセントに差し込むだけの窓まわりの電動製品です。ヨコ型ブラインドやタテ型ブラインド、ロールスクリーンをはじめとするファブリック製品など多彩なラインナップに対応。リモコンやスイッチでの操作はもちろん、市販のスマート家電リモコンを組み合わせることで、スマートスピーカーやスマートフォンでの操作にも対応しています。

..... リモコンやスイッチを用途・シーンに合わせて選べます。

ブラインドを開けて

..... 市販のスマート家電リモコンを組み合わせることで、スマートスピーカーでの音声操作やスマートフォンでの遠隔操作ができます。

ホームタコス ラインドレープ ペア アンサンブル【2021年6月発売】

1台にドレープとレースを交互に配して、光と視線をコントロール。プライバシーを守りながら、眺望を楽しめます。

立川ブラインド工業は、SDGsに賛同し、ブラインドや間仕切をはじめとするインテリア製品を通じて、「人にやさしい快適な環境づくり」を提案するとともに、環境負荷を低減しながら、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

立川ブラインド工業の取り組み

SDGsの目標達成のため、当社は5つの項目に重点をおいて取り組んでいます。

建築物内外の生活環境の改善



- 高機能・高品質な製品開発、省エネに寄与する製品開発
- インテリアデザインの追求
- 最新技術への取り組み
- 安全・安心の追求

働きやすい労働環境と社員の多様性



- 社員の多様性と柔軟な働き方の推進
- 人材育成
- 社員の健康管理の増進

社会貢献活動



- 主な活動内容（デザイン・芸術・文化に携わる人々の活動の場を提供、被災地支援等、更生保護財団の設立）

環境負荷低減



- ISO14001に基づく活動
- CO₂排出削減
- 廃棄物の削減
- 水の管理
- 資源の有効活用

持続可能性かつ透明性の高い企業活動



- コーポレートガバナンス
- コンプライアンス
- リスクマネジメント



詳しい取り組みは当社ホームページをご覧ください。



<https://www.blind.co.jp/corporate/sdgs/index.html>

SDGs（持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals）とは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、「誰一人取り残さない」（leave no one behind）、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す2030年を年限とする17の国際目標です。

銀座ショールーム

タチカワブラインド銀座ショールームでは、お客様に満足いただけるよう、豊富なインテリアの知識をもったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネート提案など、窓まわりや間仕切製品のいろいろな可能性をお伝えしています。



〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル
TEL (03) 3571-1373

営業時間/10:00~18:00 定休日/月曜・祝日(土・日曜除く)

- JR・銀座線新橋駅より徒歩5分
- 銀座4丁目交差点より徒歩8分

バーチャルショールームはこちら

「バーチャルショールーム」は、パソコンやタブレット端末、スマートフォンなどを利用して、銀座ショールームに訪れたような疑似体験ができるWebコンテンツです。ブラインドやロールスクリーンなどの窓まわり製品、カーテンレール、間仕切りなどの製品を多数展示している館内を見ることができ、画面上のアイコンをクリックすると、おすすめ製品の紹介や操作方法の動画をご覧いただけます。



<https://www.blind.co.jp/showroom/virtual/>



ショールーム一覧

新宿ショールーム	東京都渋谷区代々木2-16-4 タチカワ新宿ビル1F TEL (03) 3375-7071 定休日 水曜・祝日 営業時間 10:00~18:00	金沢ショールーム	石川県金沢市東力4-181 1F TEL (076) 291-1146 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:30
札幌ショールーム	北海道札幌市中央区南三条西12-325-3 3F TEL (011) 231-8051 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:00	大阪ショールーム	大阪府大阪市北区中津2-3-5 2F TEL (06) 6374-1813 定休日 日曜・祝日 営業時間 10:00~17:30
仙台ショールーム	宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12 1F TEL (022) 275-1311 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:00	高松ショールーム	香川県高松市木太町六区2662-1 1F TEL (087) 837-2720 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:00
信越ショールーム	新潟県新潟市東区大形本町1-2-23 TEL (025) 270-8111 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:00	広島ショールーム	広島県広島市南区東雲本町3-1-31 1F TEL (082) 284-1412 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:30
横浜ショールーム	神奈川県横浜市中区日本大通15 横浜朝日会館2F TEL (045) 662-0838 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:30	福岡ショールーム	福岡県福岡市中央区大手門1-4-5 1F TEL (092) 739-0203 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 9:00~17:30
名古屋ショールーム	愛知県名古屋市中区児玉3-4-4 3F TEL (052) 532-5085 定休日 日曜・祝日 営業時間 9:00~17:30	上海ショールーム	中華人民共和国上海市徐匯区宜山路290号 TEL 0086-21-5396-6803 定休日 春節 営業時間 9:00~18:00

■ 総資産

当連結会計年度の総資産は60,687百万円で、前連結会計年度末と比較し2,908百万円の増加となりました。

流動資産は40,462百万円で、前連結会計年度末と比較し1,194百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が減少した一方で、電子記録債権、棚卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は20,224百万円で、前連結会計年度末と比較し1,714百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得による増加および株価上昇による投資有価証券の増加によるものであります。

■ 負債

負債は13,514百万円で、前連結会計年度末と比較し167百万円の増加となりました。これは主に、退職給付に係る負債が減少した一方で、電子記録債務が増加したことによるものであります。

■ 純資産

純資産は47,173百万円で、前連結会計年度末と比較し2,741百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する当期純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は70.1%と、前連結会計年度末と比較し0.9ポイント増加となりました。

■ キャッシュ・フロー

現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は、17,927百万円(前期末 18,456百万円)となりました。これは営業活動、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フロー等の合計が529百万円減少したことによるものであります。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動による資金は、2,128百万円の増加(前期は5,167百万円の増加)となりました。

これは税金等調整前当期純利益4,531百万円に対し、減価償却費849百万円、仕入債務の増加額906百万円等による増加があった一方で、退職給付信託の設定による支出1,000百万円、売上債権の増加額1,384百万円、法人税等の支払額1,512百万円等による減少があったことによるものであります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動による資金は、2,011百万円の減少(前期は1,124百万円の減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出1,892百万円、無形固定資産の取得による支出80百万円によるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動による資金は、679百万円の減少(前期は653百万円の減少)となりました。

これは主に、配当金の支払607百万円、リース債務の返済による支出70百万円等によるものであります。

連結貸借対照表

(単位:千円)

(単位:百万円)

科目	当期 2021年12月31日現在	前期 2020年12月31日現在	増減
資産の部			
流動資産	40,462,886	39,268,428	1,194
固定資産	20,224,901	18,510,824	1,714
資産合計	60,687,788	57,779,253	2,908
負債の部			
流動負債	10,987,958	9,861,992	1,125
固定負債	2,526,368	3,484,965	△ 958
負債合計	13,514,326	13,346,958	167
純資産の部			
株主資本	42,202,231	39,899,402	2,302
資本金	4,475,000	4,475,000	-
資本剰余金	4,395,060	4,395,060	-
利益剰余金	34,004,861	31,701,118	2,303
自己株式	△ 672,690	△ 671,776	△ 914
その他の包括利益累計額	346,017	64,320	281
非支配株主持分	4,625,212	4,468,571	156
純資産合計	47,173,461	44,432,295	2,741
負債・純資産合計	60,687,788	57,779,253	2,908

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期	前期
	2021年1月1日から 2021年12月31日まで	2020年1月1日から 2020年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,128,164	5,167,852
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,011,210	△ 1,124,890
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 679,001	△ 653,069
現金及び現金同等物に係る換算差額	33,027	1,819
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	△ 529,019	3,391,711
現金及び現金同等物の期首残高	18,456,990	15,065,278
現金及び現金同等物の期末残高	17,927,970	18,456,990

連結株主資本等変動計算書

当 期 2021年1月1日から 2021年12月31日まで	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
2021年1月1日残高	4,475,000	4,395,060	31,701,118	△ 671,776	39,899,402
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 564,258		△ 564,258
親会社株主に帰属する当期純利益			2,868,002		2,868,002
自己株式の取得				△ 914	△ 914
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	-	-	2,303,743	△ 914	2,302,828
2021年12月31日残高	4,475,000	4,395,060	34,004,861	△ 672,690	42,202,231

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	2021年1月1日から 2021年12月31日まで	2020年1月1日から 2020年12月31日まで
売上高	41,236,839	39,980,868
(前期比)	(+3.1%)	(△4.9%)
売上原価	23,344,971	22,305,602
売上総利益	17,891,867	17,675,266
販売費及び一般管理費	13,334,268	13,139,487
営業利益	4,557,599	4,535,779
(前期比)	(+0.5%)	(+3.6%)
営業外収益	201,149	188,217
営業外費用	95,532	108,793
経常利益	4,663,216	4,615,204
特別利益	32,324	1,177
特別損失	164,447	120,054
税金等調整前当期純利益	4,531,093	4,496,326
法人税、住民税及び事業税	1,529,324	1,463,047
法人税等調整額	△ 27,811	58,101
当期純利益	3,029,581	2,975,178
非支配株主に帰属する当期純利益	161,579	75,143
親会社株主に帰属する当期純利益	2,868,002	2,900,034

セグメント情報

(単位：千円)

当期	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業
2021年1月1日から 2021年12月31日まで			
売上高	34,245,702	3,579,339	3,411,797
(前期比)	(+0.8%)	(+32.5%)	(+2.9%)
営業利益	4,005,621	358,194	193,782
(前期比)	(△3.6%)	(+57.2%)	(+27.7%)

(単位：千円)

その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
161,566	△ 1,262	28,014	△ 123,998	64,320	4,468,571	44,432,295
						△ 564,258
						2,868,002
						△ 914
159,918	1,821	29,978	89,977	281,696	156,641	438,337
159,918	1,821	29,978	89,977	281,696	156,641	2,741,166
321,484	559	57,993	△ 34,020	346,017	4,625,212	47,173,461

貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	2021年12月31日現在	2020年12月31日現在
資産の部		
流動資産	26,930,150	27,018,022
固定資産	16,781,795	15,206,198
資産合計	43,711,945	42,224,221
負債の部		
流動負債	8,053,261	7,597,991
固定負債	1,853,077	2,751,720
負債合計	9,906,338	10,349,712
純資産の部		
株主資本	33,501,620	31,696,082
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,060	4,395,060
利益剰余金	25,304,250	23,497,798
自己株式	△ 672,690	△ 671,776
評価・換算差額等	303,986	178,426
純資産合計	33,805,606	31,874,509
負債・純資産合計	43,711,945	42,224,221

損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	2021年1月1日から 2021年12月31日まで	2020年1月1日から 2020年12月31日まで
売上高	31,618,384	31,396,362
売上原価	17,101,683	16,883,990
売上総利益	14,516,701	14,512,372
販売費及び一般管理費	11,389,798	11,224,017
営業利益	3,126,902	3,288,354
営業外収益	584,583	537,912
営業外費用	152,769	149,905
経常利益	3,558,716	3,676,360
特別利益	28,472	—
特別損失	160,319	5,462
税引前当期純利益	3,426,869	3,670,898
法人税、住民税及び事業税	1,084,649	1,138,688
法人税等調整額	△ 28,490	29,897
当期純利益	2,370,710	2,502,312

■ 会社の概要

社名	立川ブラインド工業株式会社
英文社名	TACHIKAWA CORPORATION
創業	1938年(昭和13年)5月
設立	1947年(昭和22年)10月
資本金	44億7,500万円
国土交通大臣許可	内装仕上工事業(般-2)第5037号 建具工事業(般-2)第5037号 機械器具設置工事業(般-2)第5037号 建築工事業(特-2)第5037号
上場取引所	東京証券取引所 市場第1部 (2022年4月4日 プライム市場へ移行)
証券コード	7989
本社所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
電話番号	(03) 5484-6140
ホームページアドレス	https://www.blind.co.jp
従業員数	連結1,252名 単体798名 ※パート・契約社員等を除く

■ 営業品目

区分	品目の内容
ブラインド類	ヨコ型ブラインド、タテ型ブラインド、 天窓用ブラインド、ロールスクリーン等
間仕切類	アコーディオン式間仕切、パネル式間仕切
その他	カーテンレール、製品取付、その他

■ 連結会社

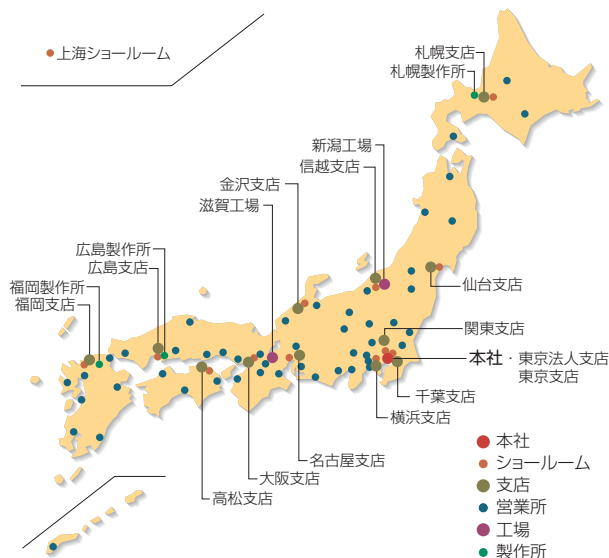
国内	
富士変速機株式会社 岐阜県岐阜市中洲町18	タチカワトレーディング株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川機工株式会社 千葉県山武市松ヶ谷口2687	タチカワサービス株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川装備株式会社 東京都渋谷区代々木2-16-4	
立川布帛工業株式会社 新潟県五泉市今泉709-1	
海外	
滋賀立川布帛工業株式会社 滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-1	立川窗飾工業(上海)有限公司 上海市嘉定区葉城路1630号

■ 取締役および監査役 (2022年3月30日現在)

代表取締役会長	立川 光 威
代表取締役社長	池崎 久 也
取締役	小野 寿 也
取締役	神上園 圭 介
取締役	立川 孟 視
取締役	田中 久 晶
取締役	佐藤 弘
取締役	宮本 實 ※1
常勤監査役	栗原 斉
監査役	杉原 麗 ※2
監査役	芹澤 眞 澄 ※2

(注) ※1 取締役のうち宮本實氏は社外取締役であります。
※2 監査役のうち杉原麗および芹澤眞澄の両氏は、社外監査役であります。

■ 当社ネットワーク



■ 株式の状況

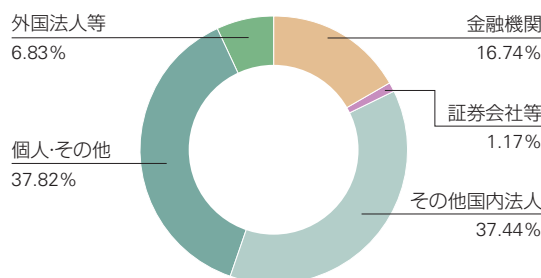
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株主数	6,632名

大株主および持株数（上位10名）

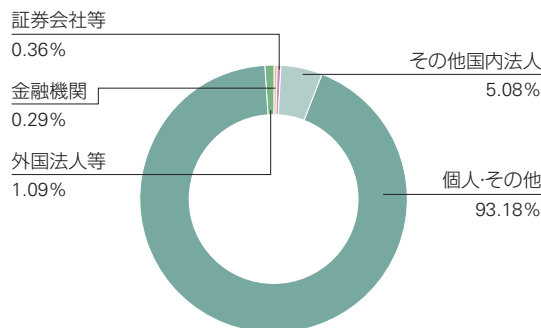
株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
有限会社立川恒産	4,117	21.16
タチカワブラインド取引先持株会	1,986	10.21
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,226	6.30
株式会社三菱UFJ銀行	553	2.84
立川 光威	498	2.56
株式会社りそな銀行	460	2.37
日本生命保険相互会社	373	1.92
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 381572	333	1.71
天馬株式会社	304	1.57

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
 (注) 2. 当社は自己株式1,307千株を保有しておりますが、上記の表には記載していません。

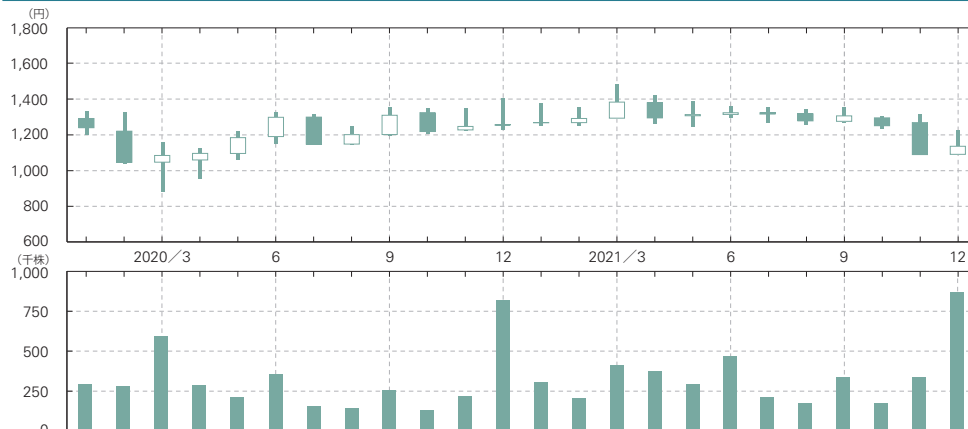
■ 所有者別持株比率



■ 所有者別株主比率



■ 株価および出来高の推移



当社ホームページでは決算短信などのIR情報や、当社事業や製品・サービスなどさまざまな情報を発信しております。

<https://www.blind.co.jp>



株主優待のご案内



〔優待内容〕 クオカード（イメージ）



① オリジナルクオカードの進呈（300株以上保有の株主様）

基準日：12月末日（年1回）

所有株式数・保有期間に応じて、オリジナルクオカードを以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	保有期間	
	3年未満	3年以上
300株以上 500株未満	1,000円分	1,500円分
500株以上 1,000株未満	2,000円分	2,500円分
1,000株以上	3,000円分	4,000円分

② 当社対象製品ご購入優待（100株以上保有の株主様）

基準日：6月末日・12月末日（年2回）

当社製品をご購入いただいた株主の皆様へ所有株式数・購入台数に応じて、以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	優待内容
100株以上 300株未満	当社製品購入1台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈
300株以上 500株未満	当社製品購入2台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈
500株以上 1,000株未満	当社製品購入3台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈
1,000株以上	当社製品購入5台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈

※ 対象株主の方へ所定の申し込みハガキを送付いたします。

事業年度 1月1日～12月31日
 定時株主総会 毎年3月
 定時株主総会基準日 12月31日
 剰余金配当基準日 12月31日（期末配当）
 6月30日（中間配当）

公告方法 電子公告によります。
 公告掲載URL
<https://www.blind.co.jp/koukoku/>
 ※事故その他のやむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 特別口座管理機関 日本証券代行株式会社
 単元株式数 100株

登録情報（ご住所、配当金振込先など）の変更、その他諸手続きについて

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
 特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。
 また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行（株）証券代行部までお問い合わせ下さい。

単元未満株式（100株未満の株式）の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
 特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

特別口座から一般口座への株式振替のお願い

特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

注）特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設（既に開設されている場合不要）し、特別口座から一般口座へ振替申請を行って下さい。

>> 郵便物送付先・お問い合わせ先

株主名簿管理人	特別口座管理機関
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711（フリーダイヤル） ホームページアドレス https://www.tr.mufj.jp/daikou/	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎ 0120-707-843（フリーダイヤル） ホームページアドレス https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html